

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

令和2年度（春季）

事務局：ひかり矯正歯科
〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森 4 丁目 3480-1
TEL 096-285-6133 FAX 096-285-6130



令和元年度 熊本矯正歯科研究会 (2019. 11. 9) 『アークホテル』にて

会長挨拶



熊本矯正歯科研究会会長 医) 犬童矯正歯科クリニック 犬童寛治

春爛漫の候、会員の皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。このたび前会長 山部耕一郎先生の後任として、熊本矯正歯科研究会 会長を務める事となりました。歴史と伝統のある本会が、さらなる発展をいたしますよう執行部一同、力を合わせて会運営に努めていきますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また 2020 年 2 月 8 日(土)、9 日(土)市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)で開催されました九州矯正歯科学会学術大会・熊本大会において、会員の先生方には多大なご理解・ご協力をいただき、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

さて、本来であれば 2020 年度、会の活動案内として 2020 年 6 月 13 日(土)和数寄司館ホテルにて外来講師をお招きして、熊本矯正歯科研究会 総会・講演会・懇親会のご案内を皆様にお知らせする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染・拡大に伴い執行部協議の上、残念ながら中止となりました。

会の皆様には、時の動向を見て改めてご案内させていただきますので、ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

2020 年度新執行部

- 会長：犬童寛治
- 副会長：京極和彦・太田文隆
- 事務局：平良幸治
- 会計：上村裕希
- 学術：久永豊
- 運営：分山英次・池上富雄
- ホームページ：近藤俊輔
- 広報：鬼塚研志 以上、理事
- 監事：山部耕一郎・山本資晴

令和元年度後期の主な活動

○ 理事会

2019年5月20日、8月19日、2020年3月2日に役員会を開催しております。

○ 令和元年度熊本矯正歯科研究会臨時総会

アークホテルにて、令和元年度臨時総会が開催され、7名（役員・理事除く）の先生にご出席いただきました。委任状37名と執行部を除いた出席者6名計43名、総会員が計75名で1/2を超えていることから臨時総会が成立し、議長に下山文江先生、議事録署名人に鬼塚研志先生、分山英信先生が選出されました。

1) 議題

- ・ 第一号議案、次期会長を犬童寛治先生に決定を求める件。
- ・ 第二号議案、次期監事を山部耕一郎先生・山本資晴先生に決定を求める件。

2) 選挙管理委員会からの報告（松岡明子先生）

令和元年9月1日、本会会長および監事選出規定に基づいて、次期会長および監事の選挙に関する公示、公募した結果、届出期間内に会長候補：犬童寛治先生（推薦者：山部耕一郎先生）および監事候補者：山部耕一郎先生（推薦者：上村裕希先生）・山本資晴先生（推薦者：京極和彦先生）会長1名、監事2名、合計3名の立候補届があり、10月5日に熊本矯正歯科研究会選挙管理委員会で審議に至った。

会長1名、監事2名は定員を満たしており、資格認定審査においても会長・監事候補者および各推薦者、全員が「熊本矯正歯科研究会会長および監事選出規定」（選挙資格者及び被選挙資格者）第3条の「被選挙資格者と認定でき、会長1名、監事2名の立候補届出を受理したことを報告した。

3) ・ 第一号議案、賛成多数で次期会長を犬童寛治先生に決定。

- ・ 第二号議案、賛成多数で次期監事を山部耕一郎先生・山本資晴先生に決定。

4) その他：九州矯正歯科学会学術大会・熊本大会の準備においては、順調に進んでいることを報告した。

（熊本矯正歯科研究会臨時総会の様子の写真）



○ 令和元年度熊本矯正歯科学研究会 講演会（令和元年 11 月 9 日）



『三次元矯正診断システムによる効果的かつ効率的な外科的矯正治療を目指して』

医療法人社団かさい矯正歯科 上地 潤 先生

顎顔面形態や咬合に重度の異常をきたした骨格性不正咬合の治療は口腔外科と連携した外科的矯正治療の適応になり、歯列不正や咬合はもとより顔貌も劇的に改善できる反面、診断と治療ゴールの設定には高い精度が求められます。特に顔面非対称など顎顔面骨格の複雑な変形が伴う症例においては、その困難さが更に増大します。これらの問題に対応するため、上地先生が2016年まで所属していた北海道医療大学の顎変形症外来で、外科的矯正治療のためのコンピューター支援診断・治療計画立案・手術（CAD/CAP/CAS）システムを構築し、明確な治療ゴールの設定が三次元ベースで行えるようになったそうです。外科的矯正治療に必要なことは、患者の顎顔面骨格を少なくとも脳頭蓋、上顎骨、下顎骨、上顎歯列、下顎歯列の5要素に細分化して各要素間の最適な相対的位置関係を究明し、顎間関係とデンタルコンペンセーションを三次元で定量的かつ体系的に理解した上で、外科矯正術と矯正治療の限界と可能性を検討して治療のゴールを設定することだそうです。矯正医が担う上顎骨と上顎歯列、下顎骨と下顎歯列の改変においては、歯の代償的变化、つまりデンタルコンペンセーションの除去が自明であり、上下顎歯列を各々の支持骨に対して効率よく調和させることが重要で、これらを実現するため、デジタルテクノロジーを使用した症例を詳しく御講話頂きました。特に顔面非対称症例の治療前後の変化や予測実現性の高い治療ゴールの設定、およびその過程が強く印象に残っております。

懇親会スナップ



和やかなムードの中、事務局の京極和彦先生、山部耕一郎先生の会長挨拶、御講話いただいた上地潤先生のお言葉に始まり、分山英次先生の乾杯により、賑やかに祝賀会が開催されました。新入会員の壽永旭博先生のご挨拶後、歓談となり、池上富雄先生の万歳三唱により、盛会のうちに閉会しました。

お知らせ

○ 会員への会則の周知について：会則をホームページ上で公開中です。

○ 歯の祭典

2020年6月7日予定の熊本市の歯の祭典は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

2020年2月8.9日九州矯正歯科学会学術大会・熊本大会



「時代の変化に備える」を大会テーマに数多くの先生方に御講演頂き、学術・症例展示におきましても充実した発表と活発な討論が行われ、盛会のうちに終了致しました。会員の先生方には多大なご理解・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

(編集；広報担当理事 平良 幸治)

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>

熊本矯正研究会のニュースレターはホームページからもご覧できます。是非ご覧くださいませ。
会費未納の会員の先生方は早急に納入くださるようお願い致します。